

宮崎県では口蹄疫の発生が継続しています

**消毒方法を再確認し、
効果的な消毒を徹底しましょう！！**

○ 消毒の留意点

- 1 消毒する前に、泥や糞を完全に落として下さい。
泥や糞など有機物があると、消毒効果が低下してしまいます。

(踏み込み槽による長靴の消毒方法)

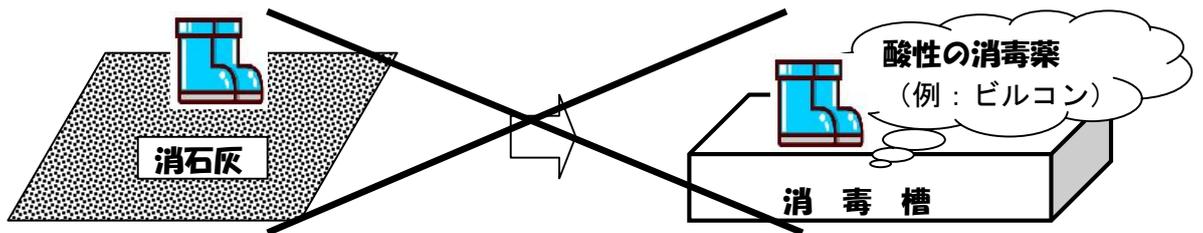


- ① ブラシで泥等を完全に落とします



- ② 泥の落ちた長靴をブラシで上のほうまで消毒します

- 2 アルカリ性と酸性の消毒薬を混ぜたり、あるいは一緒に使わないで下さい。
※ たとえば、消石灰の付いた長靴で酸性消毒薬の踏み込み槽へ入ると、せっかくの消毒薬の効果が低下してしまいます。

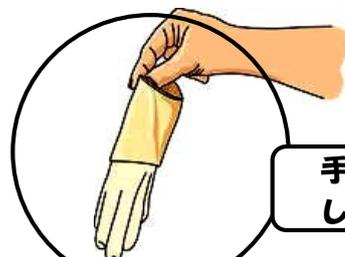


- 3 消毒薬が汚れた場合は直ちに交換して下さい。また、定期的に交換して下さい。
※ 踏み込み槽の消毒薬：汚れたら直ちに交換、汚れていなくても2～3日間隔で交換しましょう。
※ 消石灰の散布：雨によって流れてしまった場合や薄くなって地面が露出している場合には、速やかに再散布しましょう。

- 4 消毒薬を扱う時は、直接皮膚、口、呼吸器に付着しないようゴム手袋、マスク、メガネ(ゴーグル)等を着用して下さい。



素手はダメ!



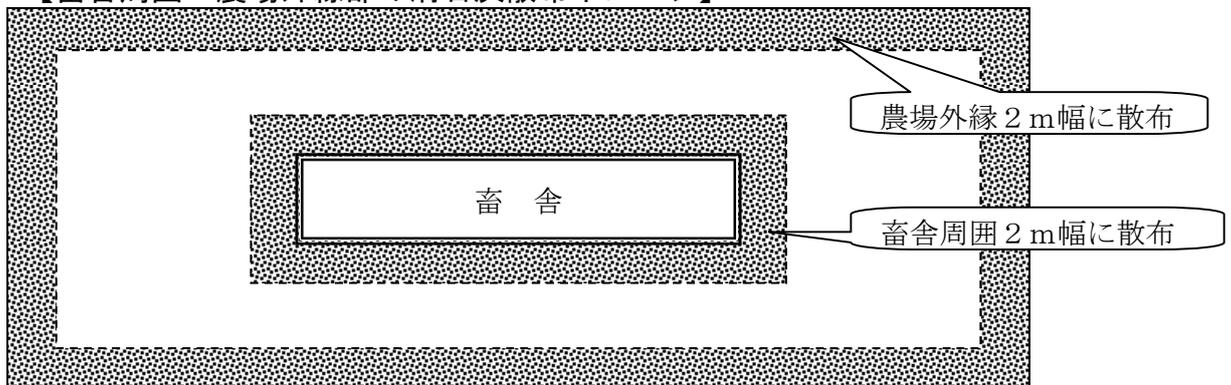
手袋を着用しましょう!!

○ 場所別の消毒方法の例

場 所	消毒の方法	推奨する消毒薬	
		アルカリ性※	酸 性※
農場入り口 (車両も含む)	農場へ入る前に全ての車両の車体や器具等へ散布する	4%炭酸ソーダ液	複合次亜塩素酸系
畜舎出入口	踏み込み槽による作業靴の消毒	4%炭酸ソーダ液 10%消石灰乳	複合次亜塩素酸系 (注)
農場内の外部車両が停車する場所	0.5～1kg/m ² を目安に地面へ散布する (ホウキなどで均一にする) 【下図参考】	消石灰	—
畜舎周囲・農場外縁部			

※アルカリ性と酸性の消毒薬を同じ場所で使用しないようにしましょう！
(注：次亜塩素酸ソーダは、アルカリ性なので混同しないよう注意しましょう！)

【畜舎周囲・農場外縁部の消石灰散布イメージ】



【参考】食用酢を使った口蹄疫対策

口蹄疫に対する補助的な対策として 1000 倍に薄めた食用酢を散布する方法が新聞 (4/29 日本農業新聞) で紹介されています。

但し、食用酢を使用した対策は、通常での衛生管理 (消毒薬による靴、車両、機具等の消毒) を行ったうえでの補助的な対策として下さい。

★消毒方法等で不明な点がございましたら、
松本家畜保健衛生所へお問い合わせ下さい。

異常家畜が認められた場合には松本家畜保健衛生所まで速やかに連絡してください。

松本家畜保健衛生所 TEL : 0263(47)3223 FAX : 0263(47)0101

※24 時間体制で受け付けます (時間外は携帯電話へ転送します)。